

I C A N N 報 告 会
- 次 回 新 g T L D 申 請 募 集 -

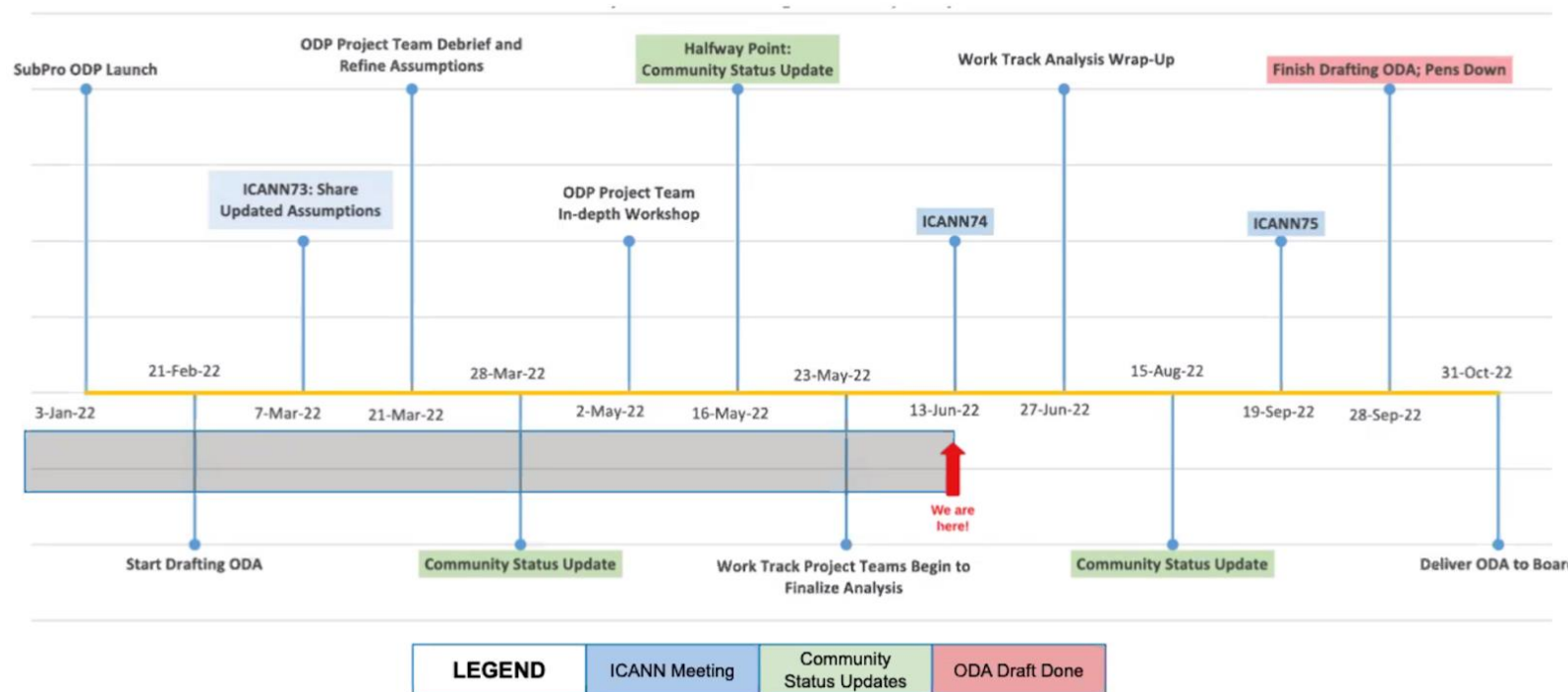
2022/07/28

アジェンダ

- 2ndラウンドに向けて
- Closed Genericsについて
- Whois Data Protectionについて

2ndラウンドに向けて/ODPの進捗について

Subsequent Procedures ODP High-Level Timeline



スケジュールは当初の想定通りに進行中しています。

Resolved (2021.09.12.01), ...The Board requests regular updates on the progress of the work and delivery of the Operational Design Assessment (ODA), the expected output of the ODP, within ten months from the date of initiation, provided that there are no unforeseen matters that could affect the timeline, of which any such matters are to be communicated to the Board immediately upon identification.

Ongoing Activities:

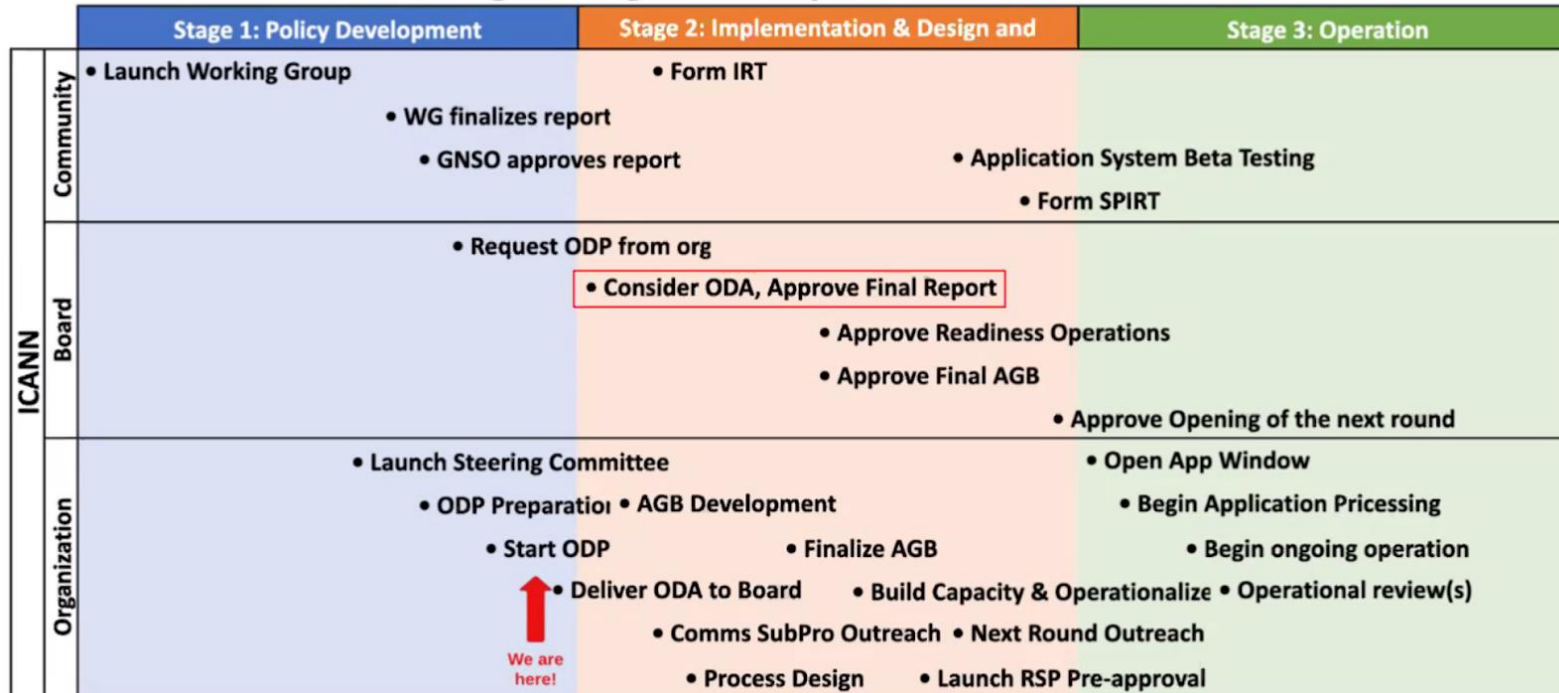
Work Track + Project Team Analysis, Meeting with liaison, Monthly status report, Legal Review, Comms.

2ndラウンドに向けて/ODP後のステップ

What Comes After the ODP?

Once the Board considers the Operational Design Assessment (ODA), there are a number of things that need to occur before the launch of the next round application window.

New gTLD Program Subsequent Procedures Milestones



ODA後、実施準備のフェーズ(Stage2)に入っていきますが、どのくらいの時間をかけて実施していくのかが明確になっていません。

ODPだけで10か月を要していますので、実施準備時間は、1～2年はかかるのではないかと想定をします。

2ndラウンドに向けて/予測可能性のあるフレームワーク

2012年の新gTLD第一回募集では、申請ガイドブックの内容が幾度となく修正がされました。ICANNでは、このような修正を是正する動きを検討しています。



the Predictability Framework

- GNSOのプロセスや手順の代わりではなく、あくまで補完的なもの
- 問題の解決策を特定するものではなく、一貫性のある手順に従って、申請者に解決の方向性を理解してもらうもの
- Standing Predictability Implementation Review Team(SPIRIT)が主となり対応していく。GNSOやICANNの理事のような権限はなく、あくまで適切な手順を示していく役割。

Closed Generics について

Closed Genericsとは、レジストリまたはその関係者が、一般的な用語を制限的に使用するTLDをいいます。

例) 赤十字 > .disaster

なお、GACは、兼ねてから「公的な目的のために利用する」ことを条件に、Closed Genericsを許可すべきという立場を取っています。

4月22日に進捗の報告がありましたが、Closed Genericsに関して、許容すべきかがパブリックコメントでは大きく意見が割れています。

そこで、ICANNは、GNSO/GACを含めて対話することを求めました。

Closed Generics について

GNSO Council Small Teamは、GNSO理事会にレコメンデーションを提出しました。

主なレコメンデーション：

- At-Large Advisory Committee(ALAC)がプロセスに参加すべき。
(GACも同意見)
- 独立した位置づけのファシリテーターを参加させるべき。(GACも同意見)
- GACとの相互の合意による対話をするため、条件や方法論を事前に決定すべき

Closed Generics について

今後のステップ：

- GNSO/GACは、フレームワークに則って議論をしていくことを合意すべき。また、コミュニティはフィードバックを得るためにその機会が与えられるはず。
- コミュニティの意見も伺いながら、フレームワークは、GNSOのポリシー開発プロセスを通じて活かしていく。
- GNSO/GACの議論が不調となれば、ICANN理事会は適切な今後のステップを検討する。
- GACは、GACアドバイスとして、Closed Genericsについて、見解を公表することが窺われる。

Whois Data Protection について

Whoisは、インターネット上の不法な行為にアクションを起こすため、法的行為のアシストをしてきましたが、GDPR後、Whoisは制限され、必要とされるアシストができなくなりました。

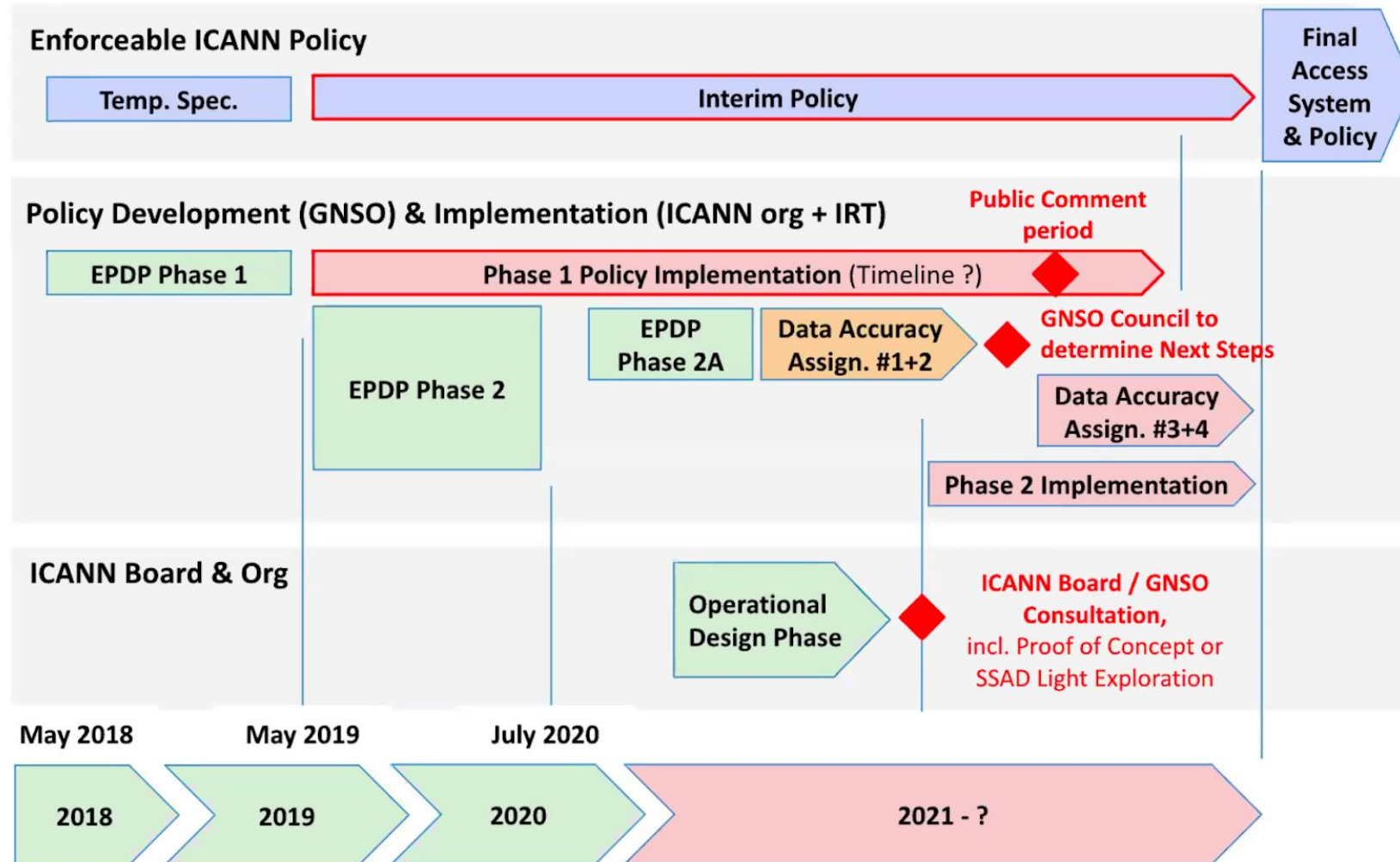


Whoisは、次の2点から必要であることが2007年当時から言われています。

- セキュリティと合理的な目的のために素早くアクセスができること
例) 消費者保護、法的アクション・調査、保全行為などのため情報を公開
- 公共のために、素早くアクセスできること
例) 知的財産権を侵害するような不法行為に対して情報を公開

Whois Data Protection について/新システム導入検討

WHOIS and Data Protection: Timeline to New System



Whois Data Protection について/新システム導入検討

WHOIS and Data Protection: SSAD Operational Design

Findings of ICANN's Operational Design Assessment as presented to the GAC (16 Feb. 2022)

3-4 Years to Develop SSAD 3-4 years of development <ul style="list-style-type: none">• Selection of vendors• Vendor ramp-up• System development• Legal instrument development• Communications plan and support Unknown duration of IRT <ul style="list-style-type: none">• Potentially 2 yrs based on experience• Development and confirmation of requirements• Policy document development System development and IRT work is conducted in parallel to the extent possible.	Complexity <ul style="list-style-type: none">• 8 types of Actors• 8 Subsystems• 60 Processes	Approx. \$20M - \$27M to Develop <ul style="list-style-type: none">• System development outsourced
	Approx. \$14M - \$107M for Annual Ongoing Operations <ul style="list-style-type: none">• Ongoing operations outsourced• User accreditation volume drives cost• ICANN org oversees ongoing operations, vendors, etc.• 7 functions to fill through RFPs	SSAD Fee Structure <u>Based on full cost recovery model</u> Accreditations/Identity Verifications: \$86 - \$21 (low - high usage) Requestor Declaration Verification: \$190- \$160 (low - high usage) Disclosure Requests: \$40 - \$0.45 (low - high usage) Fee structure based on the assumptions* of: <ul style="list-style-type: none">• 25,000 and 3 million users**• 100,000 and 12 million requests *Based on a variety of inputs incl. the CP and community surveys, RDDS requests, abuse rates, etc. **Requestors may still directly go to the CP, bypassing SSAD entirely. This may impact request volumes, if potential Requestors see the SSAD as too onerous.

新システムの設計は進んでいるが、インプットしていくべきデータの正確性などについて、GACからも意見がでている。

また、透明性をもって正確にシステムを運用していくために、運用者との契約も重要とされている。

GMO BRAND&SECURITY

担当： 寺地 裕樹 / Michael Flemming

メール： consul@brights.jp

TEL： 03-5784-1069

- 当資料の著作権は、GMOブランドセキュリティ株式会社に帰属しています。
- 著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。
- その他の会社名、商品名、サービス名、ロゴは、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標あるいは出願中の商標もしくは商号である場合があります。